

各 位

2023年7月10日
SBINFT株式会社

SBINFT、朝日新聞社に NFT 技術支援。朝日広告賞の賞状を SBT で発行

～ 譲渡や転売ができない SBT でデジタル賞状を交付、
受賞者はブロックチェーン上で受賞経歴の証明が可能に ～

NFT コンサルティング事業および NFT マーケットプレイスを運営する SBINFT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高 長徳、以下「SBINFT」）は、株式会社朝日新聞社（東京本社：東京都中央区、代表取締役社長：中村 史郎、以下「朝日新聞社」）が、2023 年 7 月 6 日に主催した朝日広告賞において、NFT を利用したデジタル賞状を発行する新たな取り組みを行ったことを発表します。デジタル賞状は、第三者に譲渡できない NFT である「SBT*」で発行され、7 月下旬に希望する受賞者に贈られます。



SBINFT は、国内ではじめて NFT による卒業証書を発行した実績に加え、産学連携プロジェクトの参加証明書 NFT を発行するなど、NFT に係る証書類発行の多数の実績があるほか、自社の内定証書や入社証書も NFT で発行しています。

これらの実績が朝日新聞社に認められ、SBINFT は、朝日新聞社が毎年開催している朝日広告賞において、NFT 推進のパートナーに選定され、NFT を付与したデジタル賞状の発行に関する技術支援を行うこととなりました。

朝日広告賞は、朝日新聞社が 1952（昭和 27）年に創設し、優秀な新聞広告の制作者に贈られる名誉ある賞です。各時代のすぐれた新聞広告を顕彰し、長きにわたって広告文化の発展に寄与してきました。

朝日広告賞では、これまでの「新聞広告の部」に加え、2022 年度より「デジタル連携の部」が新設されるなど、広告表現の新たな可能性への挑戦が続けられています。この流れを受け、第 71 回となる 2023 年度からは、朝日広告賞の賞状が紙とデジタルの両方の形式で贈られることとなりました。



今回作成されるデジタル賞状は、「受賞の証明」としての効果を持たせるため、他者への譲渡が不可能な形式である SBT で発行されます。さらに、パブリックチェーンである Polygon チェーンを利用することで、ブロックチェーン上に刻まれた発行履歴が、朝日広告賞の受賞実績を半永続的に証明します。

7月6日に朝日広告賞贈呈式が執り行われたあと、SBINFT がデジタル賞状を SBT で発行し、7月下旬に希望者のウォレットアドレスに配布する予定です。受賞者は、希望に応じて SBT の配布先ウォレットに「SBI Web3 ウォレット」と MetaMask のいずれかを選択できます。



SBINFT および SBI VC トレードが共同開発した SBI Web3 ウォレットは、銀行口座を開設するような馴染みのあるステップで作成ができ、また、自動暗号資産調達機能により、まるで日本円だけで取引しているような使いやすさで NFT を取引することができるため、今般の対象ウォレットの一つに採用されました。

SBI Web3 ウォレットはカスタディアルウォレットであるため、ユーザーによる秘密鍵の管理が不要です。「SBI Web3 ウォレット」を選択したユーザーは、秘密鍵の紛失や漏洩リスクを心配することなくデジタル賞状の SBT を保有することができるようになります。

SBINFT および SBI VC トレードは、SBI グループが掲げる「顧客中心主義」のもと、誰もが NFT を安心して利用できる環境を創出し、デジタルスペース時代の先駆者として Web3 ビジネスを推進してまいります。

【朝日新聞社について】

責任ある取材で真実に迫り、埋もれていた事実を掘り起こす。小さな声に耳を傾け、光のあたらない社会の矛盾や課題をあぶりだす。多様な見方、考え方、価値観を提示し、共有していく。

朝日新聞

朝日新聞社はジャーナリズムの力を信じ、今日よりも素晴らしい明日を、みなさまとともに考え、ともにつくっていきます。新聞やデジタルメディアはもちろん、イベント、知的財産事業など、あらゆるチャンネルを通じてみなさまとつながり、必要な情報を届け、議論や交流の場を提供します。10 年後、20 年後、100 年後も「みなさまの豊かな暮らしに役立つ総合メディア企業」であり続けるために、私たちは挑戦を続けます。

朝日新聞デジタル： <https://www.asahi.com/>

コーポレートサイト： <https://www.asahi.com/corporate/>

Twitter（公式ニュースアカウント）： <https://twitter.com/asahi>

◆会社概要

会社名：株式会社 朝日新聞社 The Asahi Shimbun Company

所在地：東京本社 東京都中央区築地 5-3-2

代表者：中村 史郎（なかむら しろう）

創刊：1879 年(明治 12 年)1 月 25 日

事業内容：新聞・デジタルメディアによるコンテンツ事業、展覧会などのイベント事業、不動産事業

【SBI VC トレードについて】

SBI VC トレードは、「暗号資産も SBI」のスローガンのもと、国内最大級のインターネット総合金融グループである SBI グループの総合力を生かし、暗号資産取引におけるフルラインナップサービスを提供しております。暗号資産交換業者及び第一種金融商品取引業者として高いセキュリティ体制のも

と、暗号資産の売買にとどまらない暗号資産運用サービスや法人向けサービスの展開、さらに Web3/NFT 分野の拡大に寄与する SBI Web3 ウォレットのリリースなど、「顧客中心主義」に基づく革新的なサービス・ビジネスを創出してまいります。

コーポレートサイト：<https://www.sbivc.co.jp/>



「SBI Web3 ウォレット」はパブリックチェーン上での NFT 事業展開において、事業者及びユーザー共に直接的に暗号資産を持たなくとも、オンチェーンで NFT を売買することができるサービスです。自動円転機能、自動暗号資産調達機能によりまるで日本円だけで取引しているような使いやすさと管理のしやすさで、事業者やユーザーの皆様の暗号資産ウォレットの作成・管理や暗号資産などのハードルを下げ、NFT 取引の裾野を広げてまいります。

◆ 会社概要

会社名：SBI VC トレード株式会社

所在地：東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号 泉ガーデンタワー

代表者：近藤 智彦（こんどう ともひこ）

設立：2017 年 5 月

事業内容：

- ・暗号資産におけるフルラインナップサービス（販売所・取引所、現物・レバレッジ、積立・レンディング・ステーキング）、およびシステムの提供
- ・自動円転により日本円だけで NFT 取引しているような使い勝手を実現する「SBI Web3 ウォレット」の提供

【SBINFT について】

「ブロックチェーンサービスで革新的な体験を世の中に」

ー Make a brilliant experience for the blockchain service ー



SBINFT は、パブリックチェーンによる NFT マーケットプレイス「SBINFT Market」を運営しています。自律分散型エコシステムの構築を掲げ、NFT マーケットプレイスを中心とするビジネスモデル

に留まらず、Web3 を牽引するような新時代のビジネス創出を目指しています。

<リンク一覧 (SBINFT 株式会社) >

コーポレートサイト : <https://sbinft.co.jp/>

SBINFT Market : <https://sbinft.market/>

最新情報 : <https://sbinft.co.jp/news/>

採用情報 : <https://sbinft.co.jp/careers/>

Twitter : https://twitter.com/sbinft_corp

◆ 会社概要

会社名 : SBINFT 株式会社

所在地 : 東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号 泉ガーデンタワー

代表者 : 高 長徳 (こう ちゃんど)

設立 : 2015 年 5 月

事業内容 :

- ・承認制による安心安全なコンテンツのみ流通することを目的としたパブリックチェーンによる NFT マーケットプレイス事業「SBINFT Market」の提供
- ・企業や団体などが、NFT を活用した新たなビジネスモデルの構築を実現するための NFT コンサルティング事業「NFT Consulting」の提供
- ・自社ドメイン上で様々な NFT コンテンツのマーケットプレイス構築を実現する WebAPI によるマケプレ構築支援事業「TOKEN CONNECT」の提供

※「Soul Bound Token (ソウルバウンドトークン)」の略。譲渡不可能な NFT のこと。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

個人・法人の方からのお問い合わせ先

SBINFT 株式会社コーポレートサイト お問い合わせ <https://sbinft.co.jp/contact/>

報道機関の方からのお問い合わせ先

SBINFT 株式会社 広報担当 info@sbinft.co.jp